

令和4年度「強み・弱み」課題の進行管理表

<強み>

1. 人口6万都市であり、比較的在宅医療や介護の関係者の顔は見えやすい。
2. 在宅医療に熱心に取り組んでくださる医師や歯科医師、薬剤師がいる。
3. 高齢化は進むが、要介護認定率は横ばいである。従来介護予防に力を入れてきた。
4. 在宅医療・介護連携推進協議会が立ち上がり連携の機会が確実にもてるようになった。
5. 在宅医療詳細情報を調査し集約、関係者が見ることができる。
6. 包括ケア病棟(浜名病院)・包括ケア病床(市立湖西病院)、介護医療院(浜名病院)がある。
7. 人口規模からみて他市に比べ包括数は多い。(同規模市で3か所)
8. 連携支援センターの設置に絡み病院と市の協力体制ができつつある。
9. 在宅医療に取り組む診療所は12・歯科は15・薬科は19機関と、機関数は減少しているが増加傾向。
10. 社会資源詳細情報を集約し、関係者が見ることができる。
11. 情報連携システムのモデル事業を始め少しずつ運用し始めている。
12. 在宅医療・介護に必要な知識や連携に必要様式やルール等をまとめた「連携お助けブックがあり公開され関係者が見ることができる。
13. お助けブックにて退院支援の流れが見える化され多職種にもわかるようになった。
14. 多職種連携研修や協議会等々実施できており、顔の見える連携ができつつある。
15. 多職種連携研修の参加者が多く、情報共有への意欲がある。
16. 退院調整ルールを作成し、連携強化を推進している。



<弱みと取り組み状況>

A 連携協働			B ACP周知			C 資源関係			D 調査把握関連			E 在宅事務関係		
弱み	取り組み内容	進行状況 (未・進行中・解決)	弱み	取り組み内容	進行状況 (未・進行中・解決)	弱み	取り組み内容	進行状況 (未・進行中・解決)	弱み	取り組み内容	進行状況 (未・進行中・解決)	弱み	取り組み内容	進行状況 (未・進行中・解決)
1	市の体制として包括的に医療と介護を考えるところが存在しない。困ったところがやる又応急的対応となっている。	進行中	1 本人・家族と専門職(ケアマネ等)を含めて多職種にて検討する機会を確保する	・多職種研修会にてACP関係の内容実施	進行中	1 市立湖西病院医療従事者不足により、病棟閉鎖や外来対応にも支障をきたしている。			1 住民の在宅医療や介護に関する意識調査が少なく十分でない。	・高齢者プランアンケートにて最後を迎えた場所の調査実施	進行中	1 連携お助けブックの活用が少ないと感じる。	・居宅連絡会やケアマネリーダー会議にて連携お助けブック活用の周知	進行中
		進行中		・エンディングノートについて啓発や配布	進行中								・連携支援センターのたよりにて連携に必要な記事を掲載	進行中
2	市の体制として地域医療全体について取り組む体制が十分でなく弱い。	進行中		・独居訪問時や単身者が入院した場合に身元保証や成年後見制度などの説明実施	進行中	2 重症患者に対応できる病院がない。(脳出血等)			2 可能な限り在宅で生活するための市民の課題が把握しきれていない。			2 在宅医療を支える支援体制がなく、参入する医療機関の負担が大きい。(保険請求)	・医師会向けの保険請求勉強会の開催	未
		進行中											・シズケア＊かけはしの登録・利用の周知・啓発	進行中
3	市立湖西病院と市担当課と地域医療における協力体制が弱い。					3 専門医(精神・認知等)がおらず、受診まで1時間近くかかり、予約にも2か月近く待つこともある。	・4包括に認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員が配置され、認知症サポート医やかかりつけ医と連携	進行中	3 在宅医療利用希望等の市民意識調査自体がない。			3 情報共有システム(シズケア＊かけはし)の市内関係機関の登録及び利用率が低い。	・シズケア＊かけはしの登録・利用の周知・啓発	進行中
													・連携支援センターのたよりにて連携に必要な記事を掲載	進行中
4	医師会と医会との兼合いがあり、行政として対応に苦慮することがある。					4 院外薬局のない地域がある。			4 湖西市の在宅死亡率が県平均より低い。					
5	市外の病院や診療所、介護施設との連携が整っていない。					5 訪問歯科診療を行う体制を整えている医院は多いが実際に訪問する歯科医院はほぼ決まっている現状がある。								
6	消防との連携(ACPを含めた)が取れていない感じがする。					6 訪問リハビリ(訪問看護内)は現時点でも需要に対応しきれていない。	・訪問リハビリ事業所の設置や訪問看護ステーションのリハビリ職増加のための啓発	進行中						
						7 在宅医療を支える支援体制がなく、参入する医療機関の負担が大きい。(器材、時間等)								
						8 薬局内に複数人薬剤師がいないと訪問にできない。								
						9 在宅医療利用者急変時の医療体制が不十分・未確立である。	・シズケア＊かけはし連携ツールの利用啓発	進行中						